

教科	地理歴史	科目（単位数）	日本史B（4）	学年	3	類型	文I
----	------	---------	---------	----	---	----	----

学習目標	①「過去」に真摯に向き合い学ぶ姿勢と、未来を展望する力の涵養。②自国の歴史を総合的に俯瞰する力の涵養。③身近な地域社会の歴史に関する関心の喚起。④自国の伝統を、短期的・短絡的な視野に囚われず、悠久たる歴史に求める意識の喚起。⑤巨視的・微視的視座を往還しつつ思考する力や、それを基盤とする柔軟な思考力の涵養。
------	---

期間	単元（学習内容）	学習の到達目標	自己評価
年度初～ 1学期 中間考査	⑬第二次世界大戦と日本 ⑭占領と国際復帰	⑬アジア・太平洋戦争に至る過程と戦況の変化について学び、国際情勢の推移を理解する。 ⑬国民生活がどのように変化した（悪化させられた）か理解する。 ⑭占領方針とその転換、さらにそれに対応した国内諸施策について理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期中間～ 期末考査	⑮55年体制と高度経済成長 ①日本のあけぼの	⑮独立回復後の政治・外交・経済を概観し、複合的に理解する。 ①日本列島における旧石器、縄文、弥生期の特徴を理解する。特に弥生期においては、大陸との関係について留意する（文明の伝播及び小国連合、邪馬台国について）。 ①ヤマト政権の積極的な対外政策を、その国内統治と併せて理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
1学期期末～ 2学期 中間考査	②古代国家の形成 ③古代国家の展開 ④宮廷貴族社会の成立 ⑤武家政権の成立	②厩戸（聖徳太子）政権から天武・持統朝までの各政権に係る共通点・相違点の精確な理解をばかり、その「共通点」の成果である律令体制について、民衆の負担と併せて理解する。 ②仏教の興隆が国内（文化面に限らない）に及ぼした影響を理解する。 ③④⑤王権の変遷と、武士の台頭に至る政治史の展開（他氏排斥～摂関政治～院政～平氏政権～鎌倉幕府）を、論理的に理解する。 ③④宋法到来による仏教の変化を理解すると同時に、貴族の信仰・風習を理解する。 ④⑤武士の台頭から武家政権の成立までの過程を理解する（特に、鎌倉幕府の性格とその変化に留意する）。 ⑤平安末～鎌倉期における仏教の変化を軸とした文化の展開を理解する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期中間～ 期末考査	⑥中世社会の展開 ⑦幕藩体制の確立	⑥⑦室町～江戸初期に係る武家政治の展開について、精確に理解しつつ、概観できるようになる。 ⑥⑦武家政権により荘園公領制が動揺・消滅する過程を理解する。 ⑥⑦文化面における仏教の位置付けの変化を意識しつつ、室町文化、桃山文化、江戸初期の文化を概観する。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D
2学期期末～ 年度末	⑧幕藩体制の展開 ⑨幕藩体制の動揺	⑧安定した幕藩体制下の政治史と、諸産業・経済の発展について理解する。 ⑨幕藩体制の動揺をもたらした要因を理解する。 ⑧⑨幕藩体制下の文化の変遷を、政治・経済などとの関連を意識しながら理解する。 ※⑧⑨は、定期考査等で復習する機会がないまま受験を迎えるため、各自で確実に復習することが求められる。	取組 A B C D 理解 A B C D 関心 A B C D

使用教材 (教科書・副教材)	教科書『新日本史B 改訂版』（山川出版社） 副教材『最新日本史図表』（第一学習社）、『4ステージ演習ノート』（数研出版）、 『日本史用語集』（山川出版社）、『新日本史ノート改訂版』（山川出版社）
学習方法	①教科書を音読する。【最重要】 ②重要歴史用語を把握し、内容を理解する。 ③授業や家庭学習で、各歴史用語間にどのような関係があるのか（または、関係がないのか）把握する。
評価方法	①学期成績は、中間・期末考査の成績と授業中の取り組みや課題の提出状況等の平常成績をもとに評価する。 ②学年成績は、1～3学期までの学期成績を平均し、その平均の評点によって5段階で評価する。